

## 2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会 委員総会(議事概要メモ)

1. 日 時:令和3年8月23日(月) 15時30分~16時10分
2. 場 所:大阪市役所5階 特別会議室
3. 出席者:会長 吉村 洋文 大阪府知事  
会長代行 松井 一郎 大阪市長  
顧問 松本 正義 公益社団法人関西経済連合会会長  
顧問 尾崎 裕 大阪商工会議所会頭  
顧問 古市 健 一般社団法人関西経済同友会代表幹事  
監事 白井 弘 白井公認会計士事務所公認会計士  
監事 川下 清 梅田総合法律事務所弁護士
4. 議 事:報告事項 大阪パビリオン出展基本計画の検討状況について
5. 議事概要:

### 【吉村会長】

本日は本当に皆さんお忙しい中、大阪パビリオン推進委員会総会にご出席をいただきまして、ありがとうございます。厚く御礼を申し上げます。

また大阪パビリオンの推進に日頃から、ご理解ご協力をいただいていることを、この場を借りて改めて感謝申し上げます。

本日は、これまで推進委員会で検討してきました大阪パビリオン出展基本計画の現在の進捗状況について報告をさせていただきたいと思います。新型コロナウイルスの感染症が非常に厳しい状況が続いていますけれども、2025年大阪・関西万博を成功させるためにしっかりと準備を進めていきたいと思います。

皆さんにおかれましては、引き続きのご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

### 【事務局】

資料に沿って説明。(記載省略)

### 【松本顧問】

REBORNというテーマでございますけれども、この最先端の医療技術やライフサイエンス産業による未来社会の体感や大阪らしさを生かした食文化等の活用と、そしてバーチャル技術の活用なども盛り込まれておりまして、今の説明で大変期待の持てる内容ではないのかなと思って聞いていました。

アンチエイジングとか、健康医療というと、どうしても年配者向けのイメージが先行してしまうということですが、ぜひ若い方にも、存分に楽しんでもらえるような、このコンテンツ、発信の仕方をお願いしたい。国内外からたくさんの方が来ますが、色んな人が参加できる素晴らしいパビリオンを仕上げていただきたいと思います。

また、レガシーというのはこれ重要なことでありますけれども、今後の長期的な大阪関西のまちづくりの観点からも、極めて重要となります。この委員会での検討事項ではないかもしれませんが、大

阪パビリオンだけでなく、この夢洲全体、さらにはこの大阪関西全体としてのレガシーのあり方、まちづくりを含めたという意味でございますが、この際ですね、そういうあり方についても、具体的な構想の議論を進めていただきたいと思います。経済界としても積極的に議論に参加をしていきたいということでございます。

それから前の大阪万博の時、ハードのレガシーというので、太陽の塔等が残っているわけでありませんが、どうも今回は困難かもしれないなと思っています。

社会実装を前提に、万博に持ち込まれてくるアイデアとか技術、未完の技術、初めは未完でありますけれども、この技術を完成するためのイニシアティブを取っていけるようなインスティテュートを計画する必要があるのかなと思ったりします。

基本はソフトのレガシーを実現するのがいいのかも知れないというふうに思っています。時間を経て、なおかつハードのレガシーがそこに残っているというのが、本当にいいのかどうか。これはよく議論するところであるし、ソフトのレガシーは、社会実装する過程で発展していくと、いうことを考えますと、今回の万博についてはソフトのレガシーをどのようにうまく残していくか、そのソフトのレガシーが芽を吹いて大きな花を咲かせていくという考え方ですね、基本的なその考え方を今回のレガシーという、そのコンセプトの中にビルドインしていくのがいいのかなというような感じもしています。

#### 【吉村会長】

若い人に楽しんでいただけるような仕組みや、ご指摘のありましたレガシー、ソフトのレガシー含めて、貴重なご意見を反映してまいりたいと思います。

#### 【尾崎顧問】

先ほどご説明いただきましたように、大阪商工会議所は産業局とともに、展示出展ゾーンの企画運営を担当することになっています。ここでは商工会議所がいま行っています、プラットフォーム事業を活用しながら、中小企業やスタートアップがその持っている先進的な技術を世界に発信できるようにしたいと考えています。万博期間だけではなく、その前の2022年ぐらいから万博終わった後も、いわゆるバーチャルの世界ではずっとやっていけるような、そういうことにできればと考えます。

世界が注目するような中小企業やスタートアップが大阪で生まれて、育っていくために、ぜひ大阪府・大阪市の産業政策との連携もやっていきたいと思います。補助金・助成金も含めて、引き続き、府・市のご支援、ご協力をお願いいたします。

レガシーについてですけれども、未来の病院などを実現してレガシーとするためには、やはり規制緩和というのが欠かせないと思います。特に大阪がスーパーシティに指定され、そしてそういうことを実際にやっていくということが必要です。ぜひ、府・市におかれましては、国への働きかけをしっかりとやっていただきたいと思います。

SDGsを掲げる万博でありますから、大阪においては、やはりこの万博のパビリオンとか設備全体を建設するときから、地球環境への影響をどうやって軽減するか、そしてパビリオンを壊すときには、その建材設備を再利用するということも考えていかなきゃいけない、絶対やらなきゃいけないことだと思います。計画段階からそういうことをしっかり考えて、そして実際にその万博を作り上げるときにも、そしてその後、壊すときにも、大阪でできたということ、これが将来に引き継がれることによ

って、万博のレガシーということになるのではないかなと思います。

パーソナルデータについても、新しい収集方法と活用方法として収集したデータ、これは万博で使うのみではなくてその後もしっかりと社会へ引き継いでいくとそういう仕組みを構築しなければいけないと思います。これも引き付けていければ、大きなレガシーになると考えています。

大阪パビリオンはぜひ多くの人々がやってきて、ワクワクするなあとか、感動したなあとというそういう施設にして仕上げていただきたいと思いますが、同時に健全な資金計画を策定して、コストベネフィットをしっかりと意識した、そういう予算管理の徹底もお願いしたいと思います。いろんなパビリオンが、それぞれが寄付というのをいろんなところに要請して、ちょっとややこしくなっていますが、大阪パビリオンは、そういうことでしっかりした計画を立てていただきたいと思います。

先週19日に万博協会が参画企業のメニューの説明会を開催されました。今後、具体的な検討を各団体企業が始めるとは思いますけれども、多くの企業が大阪パビリオンに関心を持ってもらえるように、各ワーキンググループでの検討状況等できる限り、前広に周知していただきたいと思ひますし、情報発信につきましては、大阪商工会議所もぜひお手伝いさせていただきたいと思ひます。情報共有と連携の強化をよろしくお願ひいたします。

#### 【吉村会長】

まさに出展ゾーンにおいて大阪産業局とそれから商工会議所共同で企画運営をお願いしたいと思ひております。大阪は様々優れた中小企業がたくさんありますので、あつと言わせるような運営をやつて参りたいと思ひます。ご協力よろしくお願ひします。

#### 【古市顧問】

コンセプトからパビリオンの概要、また推進委員会のご活動、また今後のスケジュールまで大変丁寧にご説明いただき、具体的なイメージが湧いてまいりました。

同友会におきましても、スタッフも含めると200名以上の会員が参加するEXPO委員会が中心になって、万博関連の諸活動を行つております。

大阪パビリオンに関しましては、昨年11月に大阪府万博協力室の方にオンラインで全体計画やREBORNコンテンツ発掘プロジェクトなどについてご講演いただきました。また、6月に案内のあつた「推進委員会の参画企業募集」について、会員企業に情報発信をさせていただきました。引き続き、この推進委員会の情報を会員企業にも提供してまいりたいと思ひますので、進展等ありましたら、ぜひとも情報の共有をお願いしたいと思ひます。

私の属している日本生命は、大阪の西区で長年にわたつて日本生命病院を経営しております。また、大阪府市が主導運営されております2023年竣工の中之島4丁目の未来医療国際拠点プロジェクトにも参加させていただいております。その関係で、このパビリオンで展開される未来の病院を中心としたアイデアについて、大変興味を持ってお話を伺ひしていました。今後、各ワーキングが具体的・本格的に始動して、関わつている多くの方々のアイデアを取り込み、この大阪パビリオンがさらに具体的にワクワクするプロジェクトに成長していくことを期待しております。

皆さんレガシーについてコメントされていたので、私からも一言コメントいたします。レガシーを残すことは大変難しいと思ひますが、少なくともイノベーションがここから生まれることは確実だと思

いますので、将来のビジネスへ結びつくようなイノベーションを意識しながら、大阪パビリオンの展開も議論していただくと、非常に良いかなと考えております。

#### 【吉村会長】

貴重なご意見ありがとうございます。また情報発信を積極的にやっていただけるということで、情報共有と発信、共にやってまいりたいと思います。よろしくお願いします。

それから中之島の未来医療国際拠点についても、これは大阪府市で力を入れているところでもありますし、万博開催前に運営が開始することになります。京大iPSの財団にも入っていただいて、様々な取組みをしていきます。大きな意味でこの万博のテーマとも共通してきますし、そこ大阪パビリオンが連携というか、うまくストーリーが繋がるようにやっていくことで、大阪の都市力が強化されると思います。

他の世界の都市に負けないように力をつけていきたいと思いますので、これからよろしくお願いします。

#### 【川下監事】

建築費について70から80億円が想定されるということで、運営や展示も含めればもっと大きな金額になるかと存じます。11月段階での民間資金の集まり具合を見て、その後の集まり具合の見込みを立てて、そしてその見込みに基づいて計画を推進していくということでございます。

この見込みを立てる際には慎重に見極めていただきたいと存じます。

それから、建物の建築費などを中心に、府や市の税財源を投入して取り組むにふさわしい部分と、娯楽性の高いといいますか、楽しめる部分では民間資金を導入することで逆に柔軟に対応できる部分とあると思います。これはちょっと分けて考えていただきたい。税を投入する部分につきましては、それにふさわしいということをしっかりと検討していただけたらありがたいと思います。

それから2025年といいますと、コロナなんかも収束してアフターコロナと呼ばれる状況になっていると思います。どういう状況になるのか、現段階で見通すのは難しいとは存じますけれども、コロナ禍を潜り抜けた全ての世代の人たちが、高齢者も若い人たちも子どもさんも皆が明るい未来を展望できるような、あるいは楽しめるような、そういう展示にしていただけたらありがたいと思います。先ほど尾崎会頭からもお話がありましたが、その際にはぜひ、費用対効果をきちっと検討していただきたいと思います。

#### 【白井監事】

非常に皆さんの意見、同感でございますので、今の段階では費用対効果予算、具体的に11月以降ですね、数字が出た段階でまたこの議論をさせていただきたいと思っておりますけれども、1970年の大阪万博から55年、そういう意味でのREBORN、より新しい魅力ある、わくわくするような万博にさせていただきたいという要望だけを今この場で申し上げたいと思います。

#### 【吉村会長】

それぞれの専門家の立場からご意見ありがとうございます。

資金等についてもこの11月以降数字が出てくる中で、しっかり我々も伝えてまいりたいと思います。その際、それぞれ先生方、弁護士また会計士をしている立場から専門的なアドバイスをいただきたい、成功させるのが目的ですので、それに向けて、専門家としてのご意見をまたいただきたいと思いますので、どうぞよろしくお力を貸していただきたいと思います。

#### 【松井会長代行】

本日は本総会にご出席をいただきまして、ご参加いただきありがとうございます。経済界から松本会長、尾崎会頭、古市代表幹事に貴重なご意見をいただきました。また、白井監事、川下監事の方からも様々な課題についての検討のご示唆をいただきました。

この大阪パビリオンにつきましては財政面においては、公費の負担以外にも民間からの協賛金、寄付を集めているところもありますが、私としては、府市の負担については、民間資金とのバランス、そして過去の万博での公費負担等々も頭に入れながら検討をしてもらいたいと思っています。

また、大阪パビリオンについては、テーマがREBORN、そしてやっぱり健康であり続ける、ライフサイエンス、ウェルネスというものがテーマの大きな部分を占めているわけですが、やはりこのテーマになりますと、若い人たちのワクワク感というのは非常に限られてくるのではないかな。といいますが、我々が若かった頃は、健康だとか、ライフサイエンスとかウェルネスとか気にせず日々を過ごしておりましたが、やっぱりどうしてもこういうテーマになると、ある一定年齢層以上と。ただ、万博というのは大阪パビリオンだけで、ワクワクドキドキを感じるわけではありませんから、万博全体の中で会場全体の中で各年齢層がドキドキするワクワクする、そういうふうな全体会場の中で、来場者のニーズに対応していくべきだと思っています。大阪館につきましては、ライフサイエンス、健康であり続ける、ライフサイエンスウェルネスが大きなテーマになりますので、ここは一定ですね、それを求めている世代が、ワクワクすると、楽しめるという、ターゲット層を絞っていくというのもある意味、総花的にならずに、来場者の満足度はあげられるのではないかなと考えておるところです。

また、レガシーについては、このハードレガシーとしては、大阪パビリオンをしっかりと残していこう。ただし、万博後何にどういう形で利用するか、これはまさに健康、ライフサイエンス、ウェルネスというものを体験できる、そういう施設であり続けたいと考えています。

先ほどお話が出ました、中之島の未来医療センターとリンクしているというか、連携というのは非常に重要です。これ本当にタイミングよく、中之島の未来医療センターの方が、2023年、先にオープンしていきますから、そこでの実績等々も万博会場である程度体験できるとか、そういう中で、世界中の皆さんの生活の健康増進と生活向上に、まさにそういう形で繋がることを大きく期待しているところです。

そういうことで、ハードレガシーとしては建物を残していく、ただ、その中身、これを残した中でその建物で何を世界の皆さんに提供するかということが一番重要で、それはソフトのレガシーに繋がると考えています。これからもその方向で検討進めていただきたいと考えていますので、よろしくお願いをいたします。

#### 【吉村会長】

大阪市・大阪府一体になりながらですね、この大阪の地元館、民間の皆さんと一つになって成功さ

せていきたいと思ひます。テーマはREBORN、生まれ変わりということですから、ここの筋をしっかりと持ちながらですね、本当に次世代にも残していけるようなものを作ってまいりたいと思ひます。

万博の会場は夢洲ですが、国際拠点、中之島の話もありました。それに加えて、うめきた2期が2024年に先行で街開きします。ここのテーマもライフデザイン、イノベーション、いろいろなテーマがあつて、健康に生きていこうということを中心にしなからそういった拠点もできます。大阪全体の面としても捉えていきたいと思ひますので、その中で、この大阪パビリオン、素晴らしいものを作り上げていきたいと思ひます。皆さん、また力を貸していただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

以上